

## 令和4年7月16日(土)高志中学校説明会でのご質問等に対する回答

説明会当日は、いろいろとご質問をいただきありがとうございました。当日会場でいただいたご質問に加えて、アンケートでいただいたご質問等に対して、以下のとおりお答えします。

(同じ内容の質問が複数ある場合は、1つにまとめてお答えしています。)

### 学習・授業について(学校生活を含む)

【Q1】コロナ禍における授業等の様子やコロナ後にどのように対応しているのか、教えてください。

【A1】感染予防のため、生徒玄関や各教室の入り口にアルコール消毒液を設置し、こまめな手洗いと消毒を呼びかけています。給食は、仕切りの板を設置して「黙食」を行っています。

授業中は教室を締め切らず換気を心がけるとともに、生徒には常にマスクを着用してもらっています。このように様々な制約がある中ですが、授業では話し合い活動など本校の特徴を維持できるよう工夫しています。合唱コンクールの練習方法や当日の実施形態等を見直して行うなど、学校行事も必要な改善を試みながら実施しています。

また、コロナ禍によるストレスなど生徒の心理面への影響が心配される中、定期的にアンケート調査を行って悩みや心配事の把握に努めるとともに、生徒が主体的に活動できる場を増やすなど、生徒が安心して元気に過ごすことのできる学校づくりを行っていきたいと考えています。

【Q2】コロナ等における学校・学級の閉鎖期間、授業はどうしているのか、教えてください。

【A2】基本的にオンライン等で自宅にいる生徒の学習支援を実施しています。そのため、入学前にご家庭のインターネット接続環境の整備をお願いしています。

【Q3】授業風景の動画では黒板やワークシートを使ったものが多いが、ICT等に関する授業への取り組みはどうなっているのか、教えてください。

【A3】高志中学校は設立当初から1人に1台タブレットを用意しています。授業では、情報検索、意見等の共有の他、様々な場面で使用しています。タブレットを使った授業で主体的で対話的な深い学びを展開しています。

【Q4】生徒の希望や長所などを考慮した教育活動の例がありましたら教えてください。

【A4】生徒がチャレンジしたいことを支援することを学校の基本的な姿勢としています。生徒たちが自ら希望し様々なコンテストや大会等に出場した様子の一端は学校案内に掲載されている通りです。

【Q5】中学校入学後、授業についていけなくなる生徒はいないのでしょうか。また、そのような生徒への学習支援は、どのように行いますか。

【A5】どの教科でも学習レベルは質・量ともに高くなるので、学習内容を十分に理解し定着させることは決して容易ではありません。得意教科もあればそうでない教科もあるのは、誰にも言えることです。本校の生徒は、授業や家庭学習等に日々力を注ぎ、苦手教科を克服するとともに、得意教科を伸ばす努力をしています。

本校では、教科によって、機会をとらえて確認テストを行うなどして一人一人の理解度・定着度を確認し、支援が必要な生徒には放課後の補習等を行っています。基本的な学習の学び直しが必要と思われる生徒には、定期考査前や長期休業中に行う「エンカレッジ講座」で支援を行います。家庭学習の課題等を特別に課すこともあります。

【Q6】高志中学校に入学する全生徒が、高い学力を維持したまま高校生になることができているのでしょうか。

【A6】当然ながら、学習成績には個人差が見られます。また、一人の生徒の中でも、教科による得意・不得意はあるでしょう。得意な教科についてはさらにその力を伸ばしてほしいところですが、そうでない教科については粘り強く努力を重ねる必要があります。本校では、【A5】で述べたとおり、様々な方法でのフォローを行っています。

【Q7】夏休みの授業があるのかどうか、教えてください。

【A7】授業はありませんが、希望者には発展的な学びのために「ステップアップ講座」を実施しています。学び直しが必要と思われる生徒には「エンカレッジ講座」で支援を行います。

【Q8】中学3年生で学習する高校の内容について、高校入学後はどのように取り扱うのですか。

【A8】現在の高志中学生の例で説明します。数学では1・2年の間に中学校数学を終え、中3では高校で学習する「理数数学Ⅰ」の一部について先取り学習を行います。また理科では、中3で高校の科目である「理数生物」の一部について先取り学習を行います。

したがって、高志中学校から進学する生徒と高校入試を経て入学する生徒は、高校1・2年次のうちは同じ進度ごとに講座を設けて授業を行います。

【Q9】宿題はどれくらい時間がかかりますか。

【A9】日常的に出される宿題は1～2時間程度でできると考えています。

【Q10】いじめや生徒同士の人間関係のことが心配です。

【A10】学校も一つの社会です。心配りや配慮の不足などから、結果的に人の嫌がる言動をしてしまうケースはいくつかあります。いずれのケースにも、教員がすぐに対応し、当該生徒の自覚を促し以後の行動をあらためるように話すなど、しっかり対応します。重大ないじめに発展しないように、学校をあげて取り組んでいます。

【Q11】「学校に行きたくない」という生徒はいますか。いる場合にはどのように対応していますか。

【A11】選抜に合格すると入学前の親子面談を行います。入学後はクラス担任や相談担当の教員が、困りごとに対応しています。また、必要に応じてスクールカウンセラーも加わり、一人ひとりの不安や悩みなどにアドバイス等をさせていただきます。様々な理由で、学校に対し足が向かない、教室に入るのがつらいなど感じる場合があるでしょうが、それを乗り越えることが出来るように丁寧に対応していきます。

【Q12】校外活動について、他の中学校の部活動に参加することは可能ですか。

【A12】安全確保、監督責任等の観点から、現実的には難しいです。実際に、ご相談をいただいたケースがありましたが、相手方の学校や本人・保護者と相談した結果、実現に至りませんでした。

【Q13】希望の部活動がなく校外活動をする場合、大会に参加することはできるのでしょうか。

また、中学生が高校の部活動に参加することは可能でしょうか？

【A13】本校の部活動は、全員入部制ではありません。校外での活動も可能です。また、水泳などの個人競技において大会に参加する場合、高志中学校からの参加選手としてエントリーすることも可能です。

中学生が高校の部活動に参加することについては、中3の後半からは定められた条件の下で可能ですが、中1、中2の段階では難しいところです。

【Q14】募集停止となった部活動の復活はあるのでしょうか。

【A14】現在のところ、その予定はありません。今後、生徒の声を聞くなどして、部活動の統廃合や再編等をすすめていく可能性はあります。

【Q15】携帯電話を持たせることは可能でしょうか。

【A15】送迎の際の連絡手段等として、携帯電話・スマートフォンの使用を認めています。ただし、学習活動には使用しないので、登校後すぐに電源を切り、クラス担任に預けてもらうにしています。お子様の携帯電話・スマートフォンの所持については、保護者の責任と監督の下になりますので、長所・短所についてよくご理解いただいたうえでご検討ください。

## 「高志学」について

【Q16】「高志学」の目的を教えてください。

【A16】目的は「ふるさとに対する誇りとグローバルな視野を持って新しい分野にチャレンジし、社会を変革していこうとするリーダーを育成する」ためです。詳しくは学校案内をご覧ください。

【Q17】今年度シンガポール研修は中止ということですが、それに代わるものを考えているのでしょうか。

【A17】一昨年度、昨年度、今年度と、3年生のシンガポール研修を取りやめました。シンガポールの交流校とは、オンラインでやり取りをしたり、手紙や学校紹介のポスター等を送り合ったりして交流を行っています。現在のコロナ感染の状況等が心配ですが、今年度はシンガポール研修の代わりに東京研修を計画しています。また、2年生の東京研修については、令和4年7月時点では、今年度の実施に関する結論をまだ出していません。

【Q18】東京研修やシンガポール研修の費用はどのくらいですか。

【A18】東京研修は8万円前後、シンガポール研修は17万円程度を予定しています。このほか、嶺南宿泊研修(1年次)やその他の校外研修にかかる費用が必要で、1年次より月々積立(3年間合計で約30万円)をお願いしています。

## 入学者選抜について

【Q19】受験(出願)に際しての手続きや必要な書類等の説明はいつになりますか。

【A19】10月10日(祝日)に県教育委員会主催の説明会が福井県生活学習館(ユーアイふくい)で行われます。今回からWeb出願になります。受験を考えている方は、是非参加して下さい。

また、受験に関するご質問等は県教育委員会高校教育課までお願いします。

【Q20】県外からの受験を考えているが、適性検査や面接の際に福井に関する知識が求められることはありますか。

【A20】入学者選抜に関する試験についての内容は申し上げることはできません。県外からの受験者が不利になることについては、ご心配の必要はないと思われます。

## 高志高校の生活や進路について

【Q21】高志中学校から、高志高校以外の高校に進学することはできますか。

【A21】高志中学校に入学する生徒には、基本的に高志高校に進学してもらいます。ご家庭の事情で県外に転住する、進路志望が変わった(職業系高校に進みたい)などの事情のある場合は、相談させていただきます。

ただし、他の高校を受験することになった場合、本校ではいわゆる受験指導は行いませんので、各自で受験準備をしていただくことになります。

【Q22】高志高校の学科選択や教育課程について教えてください。

【A22】高志高校は進学型単位制教育課程を実施し、選択科目を多く配置して希望の進路に応じて授業を選択できる仕組みをとっています。高校2年生では人文創造科・理数創造科のいずれかを選択し、高校3年生ではさらに志望別の類型(類型a・類型b・類型c)に分かれて、大学進学に対応した授業を展開していきます。

そのような高校ですので、大学進学を考えていない生徒にとっては学校生活の満足度は高まりにくいと思われます。大学進学を目指して高校に進学するという前提で高志中学校に来ていただくよう、お願いします。

【Q23】来年度の高校入学者から高校1年生でのクラス編成が変わるという点ですが、従来は何年生から混合にしていたのか。また1年生から混合にする目的やメリットを教えてください。

【A23】従来は大学の志望別類型(類型a・類型b・類型c)に分かれる高校3年で混合にしていました。その理由は、高志中出身の生徒は高校の学習を早めにやっており、学習の進捗が高入生とは違うという理由でした。

令和5年度1年生から混合クラスになります。生活クラス、いわゆるホームルーム等是一緒になりますが、進捗が違う科目の授業については、講座編成をして進捗が同じ生徒で授業を受けることになります。

混合クラスを導入する理由については、高志中で知り合った90名の仲間を越えて、より多様な人たちと関係を築き、切磋琢磨して欲しいと考えています。そして、新しい社会のリーダーに求められる資質を伸ばして欲しいと思います。

【Q24】高志中学校出身者の大学進学状況について教えてください。

【A24】高志高校では、出身中学校別の大学合格者数を公表していません。

【Q25】高志中学校在籍中に海外留学をした生徒はいますか。もし海外留学するとしたら、高志中学校で進級・卒業の認定をしてもらえますか。

【A25】これまで、中学校在籍中に海外留学をした生徒は、いません。進級や卒業の認定については、ケースごとに判断が異なるので個別に相談いただく必要があります。高志高校に進学してから短期・長期の留学を経験する生徒はこれまでもいました。

### 小学6年生の児童の皆さんからの質問は以下の通りです

【Q26】苦手教科があってもついていけますか。

【A26】保護者の皆さんに話をしてくれた中学3年生の中に、「小学生の時、私は社会が苦手だったけど高志中にきたら好きになった」という人がいます。その生徒は、高志中に来てこれまでの学び方と違うので、楽しくなったと言っています。

【Q27】英検に受かるための特別な授業はありますか。

【A27】英検のための授業はありません。ただし、夏休みなどでは英検のための講座を行っています。また、面接の対応を個別に行うこともあります。

【Q28】中高一貫校にすることによって、福井または日本をどのように変えていきたいのですか。

【A28】本校は新しい時代を切り開くリーダーを育てたいと思っています。具体的な活動としては中学校での高志学で、自分で課題を見つけてテーマ設定を行い、中学卒業に際して約8000字の論文を書きます。そのための課題を見つけて調査・検証し、また課題が見つかって調査・検証を繰り返していく支援を学校が行います。

高志中・高では、それぞれの生徒が自分の好きな領域、得意な分野で新しいアイデアを生み出し、周りの人たちと協力して学校や地域社会に新しい動きを作り出す経験をしています。この生徒たちが将来活躍し、人々に希望をもたらしてくれればと期待しています

【Q29】私はプログラミングが好きですが、好きなことにどれだけ時間をかけられますか。

【A29】中学3年生の先輩が、「高志中学校は私たちがチャレンジしたいことを応援してくれる学校です」と言ってくれました。学校生活に慣れて時間のやりくりが出来るようになれば、好きなことに挑戦していく時間が増えていくと思います。

【Q30】外国人講師が単独で行う授業の目的は何ですか。

【A30】外国人講師単独で授業ができるのは高志中のみで、市町の中学校では行っていません。本校のALTは特別免許を県から与えているために単独授業が可能です。目的は、生徒たちに早くからネイティブが話す英語を抵抗なく聞いて理解することが出来たり、自然と英語に触れる(聞いたり話したり、考えたりする)環境に慣れるためです。